

きりゅう 市議会だより

平成26年2月1日

No.235



新年恒例の桐生市消防隊出初式 分列行進の様子(市役所前の新川橋通り)

平成25年第4回定例会は、12月3日（火）に招集され、12月20日（金）までの18日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長提出議案など23件の審議を行い、それぞれ可決、同意又は異議ない旨回答することに決定しました。

主な掲載記事

- 一般質問 2~4
- 請願・陳情の審査結果・お知らせ 4
- 主な議案・子ども議会 5
- 一般会計の補正予算・人事案件 6
- 桐生市議会の議会改革について 7
- 議案と結果 8

一般質問

質 問 者	人見 武男(創志会)
	佐藤 幸雄(桐新会)
	山之内 肇(公明クラブ)
	北川 久人(創志会)
	周藤 雅彦(フォーラム桐生)
	新井 達夫(桐両クラブ)
	渡辺 修(無会派)
	森山 享大(創志会)
	福島 賢一(桐新会)
	西牧 秀乗(無会派)
	小滝 芳江(フォーラム桐生)
	岡部 純朗(桐両クラブ)
	井田 泰彦(無会派)
	飯島 英規(無会派)

12月19日(木)・20日(金)の2日間にわたり、14人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属党派名(無会派は、会派に属さない議員)

道路交通法の改正について

人見 武男(創志会)

質問 改正の重点骨子は、

答弁 無免許運転など悪(路側帯を通行する自転車)



質・危険な運転者への罰則が強化され、無免許者に車を貸したり、無免許運転を促した者に対する罰則が新たに整備された。また、自転車利用者対策の推進に関する規定も整備され、警察官による自転車検査ができ、ブレーキに不備がある自転車の整備や運転継続の禁止を命じることができると、この命令違反者への罰則も規定された。さらに自転車等の軽車両は、改正前は路側帯の左右どちらも通行できたが、改正後は左側の路側帯に限られることになる。

広沢水源地の今後の利活用について

佐藤 幸雄(桐新会)

質問 今後の利活用は、

答弁 広沢水源地は、平成元年から通年の稼働を止め、水需要の多い夏期のみ稼働していたが、平成十九年に稼働を休止し、非常用水源として位置付けていた。その後、平成二十四年に廃止を決定し、元宿浄水場からの送水を受けている。今後については、元気で活力あるまちづくりのため、人口減対策を踏まえ、企業誘致など有効活用を検討して



(広沢水源地)

いるところであり、仮に、売却となった際には、水道事業の財源として老朽施設の更新などに当てていきたいと考えている。

子どもの生命を守る取り組みについて

山之内 肇(公明クラブ)

質問 全教職員にエビペン使用に関する講習会や訓練を実施すべきでは、

答弁 市内全校で理論研修会を実施。エビペン処方の児童生徒がいる学校では全職員の実技研修を行う。

質問 学校と消防本部が迅速に連携できるように「子ども安心カード」の導入を提案したいと思うがどうか、

答弁 救急搬送時に必要な情報を迅速に伝えられる有効なものとして捉えており、



今後、学校で使用する「保健調査票」等の内容の検討と個人情報保護に関する保護者の理解等、関係部局と連携し導入の研究をしたい。(エビペン等講演会の様子)

重伝建のまち桐生について

北川 久人(創志会)

質問 市内には本町以外にも重伝建の指定を目指せる地区がある。市内各所に重伝建地区がある都市を実現することにより、重伝建のまち桐生にふさわしいと思われるが見解は、

答弁 市内に点在する歴史的風致も重伝建地区と連携したまちづくりを行う必要があることから、平成二十五年四月に新たな組織として歴史まちづくり係を設置し歴史まちづくり法を活



(市内の重伝建地区)

用したまちづくりを進めているところである。今後、この組織の中で十分研究させていただきたいと考えている。

農業政策について

周藤 雅彦（フォーラム桐生）

質問 県は平成二十五年九月に群馬かん治療技術地域活性化総合特区の指定を受け、その中でがんに有効な薬草の栽培システムの開発などがうたわれている。今後の耕作放棄地の解消などにもつながり、農業振興の新たな光になると思われるが見解は。

答弁 現在県内において契約農家栽培の検討が始まったと聞いているが、栽培技術が確立し、高価で安定



（市内の農地）

的な契約が可能となった場合には、農業経営の安定化が図れるものと思われるため、今後も事業の進捗を注視していきたい。

公立中学校の部活動

森山 享大（創志会）

質問 新学習指導要領における部活動の位置づけは。

（部活動の様子）



答弁 生徒の人的な成長や体力の向上に資する学校教育の一環であり、生徒の自主的、自発的参加によるものである。

質問 保護者の自家用車による送迎は、交通事故などの問題がある。

答弁 また、生徒の自主性や自立性、公共性や社会性を育むためにも公共交通の積極的な利用が有効と考えるが、

答弁 部活動での遠征に際しては、徒歩や自転車以外の移動は、公共交通機関の利用が基本原則と捉えている。

介護予防サポーターの養成

新井 達夫（桐岡クラブ）

質問 最近の養成講座の受講者数は。

（養成講座の様子）



答弁 平成二十四年度は八人、平成二十五年度は三人である。

質問 養成講座の目的、内容の周知徹底、今後の介護予防に対する取り組みについての考えは。

答弁 地域で介護予防サポーターとして活動できるための知識や技術を身につけることを目的としている。今後は講座についてより多くの方に理解していただき、受講者の拡大に向けて、介護予防教室の参加者等にも広く周知し、介護予防活動を充実させていきたい。

市有施設の今後のあり方

福島 賢一（桐新会）

質問 保有する市有施設の今後のあり方については、市民周知については。

答弁 可能な限り、住民サービスを低下させることのないように行なっていく中で、施設の複合化や集約化を進めながら、施設総量の縮小を図っていかねばならないと考えている。

また、このようなことから、施設利用者もとより、広く市民の意見を聞きながら、市の現状や市有施設の



（桐生市役所）

あり方について、周知する方策というものを、これから検討し、市民の声の反映に努めていきたいと考えている。

全国学力・学習状況調査

渡辺 修（無会派）

質問 調査結果の取り扱いに対する桐生市の見解は。

答弁 学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証し、学校現場における授業改善を進める。また、調査結果に基づいて、保護者の理解を得て学校と家庭が協力して学力向上への取り組みを充実させていくことが、重要であると捉えている。

質問 公表については。

答弁 市全体の課題や改



（授業の様子）

善策については、保護者等にも知らせていく必要があると捉えているが、数値の公表については、今のところ、予定していない。

自治会との業務委託

西牧 秀乗（無会派）

質問 業務委託の収支報告書の不正の有無及び受付の不備について。

答弁 市が支払った委託料とそれに対する支出額には、不適當な事実認められなかった。また、収支報告書の記載不備については、記載された金額や町会名、押印、日付など、文書の形式要件を確認した上で受理しているが、日付の記載漏れがある場合には、その場で記載していただくように

している。なお、日付の記載漏れについては、今後、区長連絡協議会に働きかけ、各町会まで周知できるように努力していきたい。

（桐生市役所）



みなし寡婦(夫)控除

小滝 芳江(フォーラム桐生)

質問 非婚のひとり親家庭については、寡婦控除が受けられない状況にあるため所得税が増えるだけでなく、所得をもとに算出される住民税、保育料、公営住宅家賃などが高くなつてしまつてケースがあり、経済負担の増加に繋がっている。こういった状況に対して、可能な範囲で救済の手を差し伸べるのは、自治体の責務と考えるが、当市の見解はどうか。



(桐生市役所)

答弁 他自治体でも実施又は検討している状況であるので今後は、他県や県内他自治体の動向を注視しながら調査していきたい。

放射性物質対策

飯島 英規(無党派)

質問 福島第一原発事故による放射能被害も原爆症と同様に、子どもたちに痛みを発生させてはいけないという問題のなかでは、より悲観的に、より抜本的に放射性物質対策を立て直すべきと考えるが市の見解は。

置き場の構造は、国の基準を上回る仕様とするなどの対策も講じている。今後も引き続き、市民の安全・安心を常に念頭に置き取り組んでいきたい。

(桐生市役所)



「MAYU」の利活用

岡部 純朗(桐岡クラブ)

質問 低速電動「MAYU」は、市内巡回や車庫での見学はできるが、「環境先進都市」「サイエンスドクター事業」「桐生を好きな子どもを育てる」といった観点から各小中学校での出張展示説明会は開催できないか。

答弁 先日、事業所担当者から来庁し、開催したい旨の申し出があった。今後、校長・園長会議において、事業所担当者が「MAYU」

の出張展示説明会について説明し、各学校で検討することになっているので関係各課と連携を進める中で前向きに検討したい。

(市内を走るMAYU)



請願・陳情の審査結果

この定例会では、請願3件の審査を行い、いずれも閉会中の継続審査となりました。

また、平成25年10月21日開催の総務委員協議会において、陳情1件の審査を行い、採択となりました。

◎閉会中の継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
教育民生委員会	第19号	子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める請願
	第22号	就学援助事務手続きの改正を求める請願
	第23号	「全国一斉学力テスト」学校別結果公表反対を求める請願

◎採択となった陳情

付託委員会	受理番号	件名
総務委員協議会	第3号	バス停設置に関する陳情

お知らせ

★次回定例会の開催予定は…

2月24日(月)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

平成25年第4回定例会の会議録は、3月上旬からご覧になれます。なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。

みどり市との合併

井田 泰彦(無党派)

質問 みどり市との合併に向けて、更なる連携を図り、桐生市からアクション



(桐生市役所)

を起こし、積極的にアプローチをしていく必要があると考えるがどうか。

答弁 みどり市とは、連携交流事業、将来ビジョン調査研究事業を見直し、地域の均衡ある発展に不可欠な喫緊のテーマを選定するなどして、合併に向けて研究を可能な限り進めたいと考えている。みどり市長をはじめ、いくつかの団体を通じて「合併に対する考え方」について話をする機会はあるので、今後も引き続き積極的に働きかけて参りたい。

主な議案

(議決結果については八ページをご覧ください。)

○消費税率等の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例案

概要

平成二十六年四月一日から消費税率及び地方消費税率が引き上げられることに伴い、消費税の課税対象となる使用料、手数料等が規定されている関係条例について所要の改正を行うもの。

○桐生市森林公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案

概要

平成二十六年四月一日から消費税率及び地方消費税率が引き上げられることに伴い、消費税の課税対象となる花見ヶ原森林公園及び利平茶屋森林公園の使用料について改正を行い、施設の現状に合わせ施設・設備(花見ヶ原森林公園駐車場、五人用バンガロー、五人用テント、八人用テントなど)

に関する規定を見直すもの。

(花見ヶ原森林公園)



○財産の減額譲渡(市営住宅川内町二丁目A団地跡地)について

概要

平成二十四年度末をもって全ての建物の解体を終えた市営住宅川内町二丁目A団地跡地を人口減少対策の一環として宅地分譲を計画している桐生市土地開発公社に減額して譲渡するに当たり、地方自治法第九十六条第一項第六号の規定により、議会の議決を得ようとするもの。

するもの。

(川内町二丁目A団地跡地)



○桐生市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部を改正する条例案

概要

群馬県土砂等による埋立て等の規制に関する条例の制定に伴い、群馬県と当市における特定事業を許可する面積要件を分担するとともに、土砂等の搬入容積の要件等を追加するため、所要の改正を行うもの。

○桐生市黒保根高齢者生活支援施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案

概要

黒保根高齢者生活支援施設

設の二人用居室を一人で使用する場合の使用料を定めるため、所要の改正を行うもの。

(つつじの家)



○指定管理者の指定について

- ・桐生が岡遊園地
- ・吾妻公園及び水道山公園
- ・桐生市南公園
- ・桐生市市民文化会館
- ・桐生市体育施設

概要

平成二十四年四月一日から指定管理者制度により指定している各施設において、その指定期間が平成二十六年三月三十一日までであるため、平成二十六年四月一日から非公募(吾妻公園、水道山公園及び桐生市南公

園は公募)において、指定管理者に指定しようとするもの。

(桐生スケートセンター)



桐生市子ども会 子ども議会開催

平成25年10月26日(土)に本会議場で第13回子ども議会が開催されました。

市内の各小学校から選ばれた18人の児童が、「『わたしの夢見る未来の桐生』に対する自分の夢、願い、希望すること」を提案し、市政について様々な意見や提案を発表しました。



市議会本会議を 傍聴してみませんか？

本会議は公開されており、議会傍聴受付で簡単な手続き（住所、氏名の記入）をすれば、自由に傍聴できます。傍聴席の定員は80人で傍聴希望者が定員を超えるときは、整理券を発行して混乱を避けています。

なお、常任委員会（総務、経済建設、教育民生の3委員会）についても傍聴できますが、スペースに限りがありますので、傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局までお問い合わせください。

桐生市議会報告会・意見交換会

桐生市議会では、各定例会終了後、その結果を市民の皆様へ報告するため、議会報告会及び意見交換会を開催しています。次回の開催は、平成26年4月中を予定しておりますので多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。詳細は、桐生市ホームページ等でお知らせいたします。



会派の構成 (平成25年10月1日現在)

- 創志会 (7人)
- 桐新会 (3人)
- 公明クラブ (2人)
- フォーラム桐生 (2人)
- 桐両クラブ (2人)
- ※ 無会派議員 (5人)

齋 <small>さい</small>	桑 <small>くわ</small>	窪 <small>くぼ</small>	本 <small>ほん</small>
藤 <small>とう</small>	原 <small>はら</small>	寺 <small>てら</small>	間 <small>ま</small>
伸 <small>のぶ</small>	典 <small>のり</small>	藤 <small>ふじ</small>	光 <small>みつ</small>
(新任) 江 <small>え</small>	(新任) 子 <small>こ</small>	(再任) 枝 <small>え</small>	(再任) 雄 <small>お</small>

人権擁護委員

山 <small>やま</small>	押 <small>おし</small>
上 <small>かみ</small>	見 <small>み</small>
達 <small>たつ</small>	新 <small>しんいちろう</small>
(再任) 也 <small>や</small>	(再任) 郎 <small>らう</small>

固定資産評価審査委員会委員

市議会は、次の人事案件六件に同意または異議ない旨回答することに決定しました。

人事 案件

一般会計の 補正予算

◎平成25年度桐生市一般会計補正予算（第4号）

可決

概要

歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ9億3,377万3,000円を増額補正して、予算総額をそれぞれ438億6,217万2,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

- 総務費自治振興費
 - LED防犯灯導入促進事業 180万円の追加
(LED防犯灯賃借料)
- 民生費児童福祉総務費
 - 児童福祉費一般経費 936万円の増額
(保育料システム改修委託料及び子育て支援システム導入委託料)
- 民生費民間保育所費
 - 民間保育所費助成事業 4,776万8,000円の増額
(保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金)
- 労働費労働諸費
 - 緊急雇用対策事業 1,783万5,000円の増額
(低速電動コミュニティバス活用事業委託料ほか)
- 土木費道路橋梁新設改良費
 - 道路橋梁新設改良事業 1億5,500万円の増額
(旧桐生・新里・黒保根地区における舗装道改良工事)
- 土木費住宅管理費
 - 市営住宅施設改修事業 3,899万1,000円の増額
(足仲団地外壁及び防水改修工事)
- 教育費教育振興費
 - 総務一般経費 50万円の増額
(教育教具購入費)

議会改革

市議会は
取り組んでいます。



桐生市議会は、市民の皆様によりわかりやすい、スピード感のある議会を目指し、改革を進めています。今号では、議会改革の取り組みによって、実施された主な項目についてお知らせします。

1 桐生市議会基本条例の施行

「市民に開かれた議会」「市民参加」「議会の活性化」を柱に議会の果たすべき役割と責任を明確にし、桐生らしい地方自治の実現を目指すべく、平成23年第2回定例会6月議会において地方主権調査特別委員会を設置し、議会基本条例の制定に向けた調査・研究を行ってきました。その結果、25年9月18日本会議において桐生市議会基本条例が可決され、25年10月1日から施行されました。

2 議会報告会・意見交換会の開催

各定例会における議決結果などの内容について、市民に直接報告する機会を設けるとともに、市政に関心を持つ市民との意見交換会を実施しています。なお、実施時期については各定例会終了後の実施となります。

3 本会議における議員表決の賛否公表

本会議での議案などの表決について、市議会だより及び桐生市ホームページで、議員個々の賛否を公表しています。

4 インターネットによる議会中継・録画中継

市政に関し、より高い関心を多くの方々に持っていただくために、平成25年第4回定例会12月議会からインターネットによる本会議放映を実施しています。また、過去の放映分につきましては、桐生市ホームページから視聴できます。

5 桐生市議会情報番組「KJ」（FM放送を利用した議会情報番組の発信）

KJは、「よりわかりやすい議会」を実現するため、FM放送を媒体として、全議員が順番で出演し、議会や市のPR、一般質問の説明などを発信する桐生市議会の公式番組で毎月第1月曜日の午後8時からFM桐生(77.7MHz)で放送しています。また、過去の放送分については、桐生市ホームページから視聴できます。

6 ツイッターやフェイスブックの活用

より多くの方々へ議会情報を発信するため、議会独自のツイッターやフェイスブックを開設しました。



